

基本情報						
教科・科目		社会科地理的分野		授業で使用するもの 授業プリント(各自無くさないようにノートに貼り付けること) iPad：調べ学習、ロイロノート、その他アプリ等の使用 補助教材：教科書（帝国書院） 地図帳（帝国書院） 資料集		
担当者		A 大網 貴之    BC 宮地 若菜				
評価割合（試験：試験外）		試験：5          試験外：5		※ 定期テスト①～⑤は、100点満点で実施 試験外評価については、授業で行うアクティビティ、プレゼンテーション、小テスト等で評価する。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		あらゆる地理的事象とそれに基づく人間生活の関係を理解することができる力		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		得た知識を使って、事象を組み合わせたリ、比較したりすることで論理的に説明することができる力		
		探究・観智（主体的に学習に取り組む態度）		地理的な知識・論理を用いて人々の生活をより良くするために社会へ提言することができる力		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	4	地理とは何か？ 地の理と人間生活との関係性は？	・あらゆる地理的な事象がそこに住む動植物や人間の生活等に影響を与えていることを理解することができる ・具体的な地理的事象と動植物、人間の活動の相関関係について掘んだ上でそれらを組み合わせることで論理的に地理とそこに住む生命の関係性について説明することができる ・地理的な具体的事象をもとに将来どういった生活の変化や進化が考えられるか自分の考えを示すことができる	【地理導入】 地理とは何か？地理的な事象や変化の中で動植物が進化してきた過程や人間が活動を行う中で地理がどう影響を与えているのかについて気づき、今の人間生活が地の理に基づいて成り立っていることを意識する。	・講義(インプット) ・個人ワーク ・ワーク内容共有	・個人ワークの提出物 ※ GW課題に対し、小テスト実施
5	8	地図のあらまし・図法とは？	・世界地図から身近な地図、様々な歴史的背景から、現在のGISといった先進技術に繋がったことを理解し、用途に応じた図法が作成されていることを理解することができる ・具体的な歴史的な事象と人間の活動の相互関係について掘んだ上でそれらを組み合わせることで論理的に説明することができる ・国名クイズを作成するにあたり、絶対的位置や相対的位置を表す際に、既習の図法・地図を活用し文化的特色について、なぜその場所でその事象が発生するのか事後レポートにて、自分なりの問いをたて、探究することができる	【地図の基本】 地図は私たちの生活にどのような役割を果たしているのか？歴史的に人間が活動を行う中で、どのような価値観・宗教感・文明の発達段階ががどう地図や図法に影響を与えているのかについて気づき、今の人間生活が先人の知識に基づいて成り立っていることを理解し、私たちの生活・暮らしに活かせるように学びに向かうことができる。	・講義(インプット) ・個人ワーク ・グループワーク ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション    事後レポート
定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日						
6	7	ケッペンの気候区分 気候の種類と植生はどう関係しているのか？	・気候の種類と植生の関係について表したケッペンの気候区分の種類と位置関係について理解することができる ・気候の種類について、地球上の構造からなぜその気候になるのか論理的に説明できるとともに気候の特徴から植生にどう影響を与えているかについて説明することができる ・気候区分の原理とパターンをつかんだ上で、どのような条件下でその気候が発生し、それらの影響によってどんな植生になるか自らの考えを示すことができる	【系統地理】 プレートテクトニクスの知識をもとに植生と気候の区分に関して理解することで農林水産業や工業をはじめとした人間の活動における関係性をつかむための土台として理解する。	・講義(インプット) ・個人ワーク ・小テスト	・小テスト
7	3				・プレゼンテーション (旅行するには？)	・プレゼンテーション
定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日						
8	夏休み課題）日本地理_好きな都道府県のPR新聞を作る					
9	7	プレートテクトニクス 地形はいかにして作られるのだろうか？	・今ある各地形がどのような原理で形成されたかについて理解することができる ・各地形の特徴の違いについて、形成過程においてどのような変化があったかを示すことで論理的に道筋を立てて説明することができる ・プレートテクトニクスを理解することで各地域においてどのような地形が形成されるか、また長い未来に地球でどのような変化が考えられるか自分なりの考えを示すことができる	【系統地理】 地形はいかにして作られるのか？プレートテクトニクスを理解することで影響する気候やそこに住む人々にどう生活の特徴をもたらすのかを論理的に理解するための土台として理解する。（堆積平野を中心に扱う）	・講義(インプット) ・個人ワーク ・小レポート	・ハザードマップポータルを用いた小レポート
10	7	世界の農林水産業と工業 なぜ地域によって 農林水産業や工業の発展に違いが出るのか？	・プレートテクトニクス、気候区分について理解した上で、世界の農林水産業や農業の発展の仕方に違いがあることと関係性があることについて理解することができる ・農林水産業と工業の特徴の違いについて、地形、気候、植生などの情報を照らし合わせて論理的に説明することができる ・新たな環境や食料に関して課題としている地域などについて地域による産業の発達の仕方の違いの理解をもとに解決策を検討し、自分なりの考えを示すことができる	【系統地理】 プレートテクトニクスと気候区分に関して理解を深めた上で、地の理に基づいて産業が発展し、人間活動が発展するプロセスを論理的にかつ系統的に理解する。※ここではウェーバーの工業立地論を中心に扱うこととする	・講義(インプット) ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・講義（インプット）    ・プレゼンテーション
定期試験③ 令和7年 10月20日～10月22日						
11	10	北アメリカ州 南アメリカ州	・既習の地形、気候と農業の関係性について理解した上で、北アメリカと南アメリカにおける産業の分布や違いについて理解することができる ・各アメリカ州の産業について地形、気候などの関係性を踏まえた上で盛んな理由や発展した経緯について論理的に説明することができる ・各アメリカ州の産業について、現状課題となっていることやこの先の未来において、地理的な状況を踏まえた上で自分なりの解決策や新提案を示すことができる	【地誌】 系統的に学んだプレートテクトニクス、気候区分の内容をもとに東西南北で多様な気候や植生をもつアメリカ州をベースに産業の違いや特徴について追求していく。※気候帯と農業の関係性を軸にして取り扱う	・講義(インプット) ・個人ワーク ・グループワーク(個人共有)	・個人ワークの提出物 ・動画プレゼン
12	3					
定期試験④ 令和7年 12月10日～12月12日						
1	6	世界の人種と民族 人種と民族は何が違うのか？ なぜ民族による争いが起こるのか？	・人種と民族の違いについて理解するとともに、各人種や民族が地理的にどう区分されるかについて理解することができる ・地理的に区分された人種と民族の関係性からその民族の風習や文化、宗教、慣習などの違いについて整理した上で説明することができる ・人種や民族の地理的、地域的關係性について理解を深めた上で、なぜ民族による争いが起こるのかについて自ら発生する要因を見つけ出すことができる	【系統地理】 地の理の上に住む人々がそれぞれの地域で風習や文化、宗教や慣習などを発展させてきたとともに異なる人種や民族による争いが起きていることを理解する。それらの考えを理解することで今後どういった解決策が必要かどうか考えるための素地を養う。	・講義(インプット) ・個人ワーク ・動画プレゼン ・ディスカッション	・動画プレゼン ・ディスカッションフィードバック
2	13	アジア州 重点）発展途上国の人口爆発がなぜ起こるのか？アジアの各地域で見てみよう	・同じアジアの中でもそれぞれ違った特徴があることを理解し、人口の変化や推移を一つの観点として特徴と人口の変化がどう相関するかについて理解することができる ・アジア州の各地域の特徴や文化をとらえた上で、人口との相関関係を論理的に説明することができる ・主体性）現代の人口問題の何が問題であるのか理解した上で、今後どういった対応や試みが必要であるかどうか自分なりの考えを示すことができる	【地誌】 世界の人口の増減や変化について系統的に違いを理解した上で、実際のアジアにおいてどういった人口問題が起きているのかを地理的な特徴や生活的な特徴の違いを比較する中で考察する。	・講義(インプット) ・各地域のまとめプレゼン（ジグソー法） ・共有プレゼンテーション	・共有プレゼンテーション ・フィードバック
定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日						